あおぞらつぐみ通信

発行日：令和８年１０月２７日　　〇第１０７号〇

社会福祉法人あおぞらつぐみ福祉会
〇あおぞらつぐみの家
東大阪市加納５－12－25
☎０７２－８７２－９２１１
〇ほ　た　る
東大阪市日下町７－３－57
☎０７２－９８１－５２００
発行責任者　　橋之爪　栄



きょうされん全国大会in大阪に参加しました。
みなさんの様子は2Pから！



◆　もくじ　◆

・きょうされん全国大会ｉｎ大阪　　２Ｐ～３Ｐ
・合同土曜レク／新人紹介　　４Ｐ
・私のキラリ☆ほっと　　５Ｐ
　床上浸水、その後
・後援会だより第２１号　　６Ｐ～７Ｐ

きょうされん 第49回全国大会 in 大阪 えがおのまつり

9月23日(水)・24日(木)に大阪国際会議場（グランキューブ大阪）で開催した「第49回全国大会 in 大阪 えがおのまつり」は、全国各地から障害のある人140０人を含む3200人が参加。河内ブロックの担当者である私も当日の運営要員で現地スタッフとして他事業所利用者の介助等を担い、大会参加へのサポートに携わる運びとなりました。



会場内の人の多さと熱気に圧倒され、大会テーマである「ええやん 自分らしくいこや つなごう えがお、いのち、そして平和」を参加者同士で共有する2日間となりました。会場には大阪支部所属事業所の授産品販売ブースも並び、ほたるの授産品の制作、販売を支援している立場からよい刺激となり沢山のヒントをもらえた次第です。

今年は大阪での開催ということであおぞらつぐみの家・ほたるの一部利用者も2日目の24日に参加されています。開放ブースにて音楽ライブやレクリエーションを楽しまれたとのことで良い一日となったかと思います。



また河内ブロックから東大阪の名所の写真が必要とのことで利用者と初詣に石切神社の参拝にいった時の写真を提供させていただいたところそれが開会式のオープニングムービーの一部に採用され思わぬ形で全国デビューを果たすことになりました（笑）。

他にも基調講演をはじめ多岐にわたる講習会が開かれており、今度はスタッフとしてではなく、いち参加者として講演や講習を受け障害福祉に携わる者としての見識を広げたいとも思いました。

最後に今大会の開催にあたって当法人を通じ多額の協賛金をいただきました保護者様・企業様をはじめ今大会を支えていただいた自治体・関係団体・企業・地域のみなさま、そしてボランティア・関係者、すべてのみなさまに感謝申し上げます。

（椎葉）

なんじゃランドに付き添いました

私は利用者お二人の付き添いで参加しました。

会場に到着してすぐに5階に行き、お弁当を貰いました。普段とは違い超高級らしき弁当にMさんも、Iさんも表情が、ぱぁーと明るくなり、Iさんは、お弁当を見てすぐに「美味しそうやな!!」と。昼食はあいにく座る所が無く、屋台のように立ちながらの食事になりましたが、それでも皆さん上手に食べておられます。「どのオカズが良かった?」と聞くと、Mさんはやっぱりお肉を指差して「コレ!」と教えてくれました。皆さん大満足な表情でした。





昼食後はミニゲームを目指して、なんじゃタウンへ。どこに入り口があるか分らず、いろんな部屋を覗きまわりました。ある部屋では、大きなお神輿を見本に、割り箸等でミニお神輿を作っていました。それには参加出来ませんでしたが、とっても楽しそうでした。やっとの事でミニゲームコーナーに入れましたが、同じ部屋でアイドルのライブで大盛り上がりの状態。部屋に入った直後は、大きな音や人の賑わいにポカンとする場面もありました。ライブにもちょっと参加させてもらい、周りのみんなが掛け声に合わせて腕を上にあげているのを見て、Mさんは踊りを、Iさんは掛け声を真似て楽しそうでした。

目的のミニゲームでは、コイン落とし・カラーボール入れ・輪投げにチャレンジ。上手く出来た人にはお菓子と交換出来るチケットが貰える仕組みになっていて、2人とも6枚ほどチケットを貰ってお菓子をゲット!

短い時間でしたが、帰りの道中でも「楽しかったね」と、皆さん口を揃えて話しており、車内は行きも帰りもとっても賑やかでした。

(三木)



楽しかったよ!

会場に着いてからみんなで会場のお弁当を食べました!!

特にきんぴらごぼうとからあげがおいしかったです。

音楽LIVEの音が少し大きかったのでろう下で音楽を聴きながらダンスをしました♪

色んな仲間が来ていて楽しかったです!

また行きたいと思いました!

(ほたる利用者　丘さん)



合同土曜レク～夏祭り～

8月22日の土曜日は2年ぶりに、あおぞらつぐみの家とほたる合同での河内音頭の盆踊りとミニ屋台を楽しみました。今回は、地元の医療生協加納診療所からの紹介で5名の踊りの上手な方々が助けに来て下さり、盆踊りを盛り上げて下さいました。



利用者さんたちは久しぶりに出会えた仲間やボランティアと輪になり一緒に踊りを楽しむことができました。

踊りの後はミニ屋台の始まり。前もって作っていたチケットを、かき氷、綿あめ、ミルクせんべいと交換して、おいしくいただいたり、あて物を楽しんだりしました。普段は食べないミルクせんべいをおいしそうに食べる人、店員になって、綿菓子作りや、かき氷作りに挑戦する人もいて、ワクワク感倍増の夏の取り組みになりました。



いつもは別の事業所で過ごす仲間たちですが、久々の交流で、いい笑顔、楽しいふれあいがいっぱいの機会になりました。また合同の楽しい取り組みを企画したいと思います。（平田）

新人紹介

田中（たなか） 喜代美（きよみ）（あおぞらつぐみの家）



年齢はさておき、新人の田中と申します。自身では、ご利用者様の出来る事や必要な事を大切にし、安心して頂ける支援に繋げていきたいと思っています。

國場（くにば） あけみ（ほたる）



9月より〝ほたる〟に支援員として入職しました國場と申します。

これまでの障がい福祉の現場での経験を活かしつつ、利用者様、家族様、職員、関係者の皆様方と協力し、仕事に励んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

私のキラリ☆ほっと

信頼の握手

時々バスの添乗をしています。Hさんは、横に座ると関わり方を探るように私の手であちこちに触らせようとして落ち着きません。でも最近は私の手と自分の手を、指を絡める様にして手のひらをぐっと密着させて、それで安心されるようなのです。（今でいう恋人繋ぎ？）なんだか、気持ちもぐっと近づいて信頼されている感があり、こちらも嬉しくなります。（格清）



ごめんねの想い



好きな職員が去ってしまい、少し落ち込み気味だったMさん。不安な気持ちを上手く表現できず私の手に爪を立ててしまいました。でも、「いたいよ、離してね」と丁寧に声をかけると、そっと手を離し私の目をジーっと見てくれたのです。「ごめんね」とでも言いたそうな表情で。言葉ではないけれど、心のやり取りができた！と感じた出来事でした。（格清）

床上浸水、その後

エレベーター復旧

6月の床上浸水で完全に使えなくなっていたエレベーターですが、今月15日にようやく復旧工事が終わりました。動かない間は、2階の機械浴への移動等に救護用担架を使い2人がかりで対応していました。利用者さんにはご負担をおかけしたと申し訳なく思っています。

復旧工事は業者さんが大変急いで進めて下さり、本当にありがたかったです。9月29日の調査の結果、国庫補助金を頂ける事となり、大変助かりました。



その他の対策



ショートステイの屋上部が雨漏りしていましたが、大急ぎで防水対策を施しました。また、1階の畳コーナーは水浸し状態でしたがクッションフロアに張り替えました。今後は、あおぞらつぐみの家本体の屋上防水等も進めていきます。



あおそらつぐみ後援会だより

第21号

アメリア納涼大会に参加

８月22日、恒例のアメリアマンションの納涼大会が開催されました。

後援会としては、今年は人気の高いタマセン、スーパーボール、ひも釣りゲームなどを出店させて頂きました。おかげさまで今年も、１３９，７１０円の収益を上げることができました。祭りのあいだもマンション自治会の方々からは「うまくいってますか」「水分をとってくださいよ」等、あたたかいお気遣いをいただき、感謝の気持ちで一杯になりました。たくさんの老若男女が楽しく集う、このお祭りがずっと続きますようにと願います。

さて、アメリアの納涼大会は、あおぞらつぐみの家、ほたるがそれぞれの自主製品を売らせていただく大事な機会でもあります。あおぞらつぐみの家では牛乳パックで作った紙漉きのイラスト付きの、丸うちわを販売。そこに思い思いのシールを貼ったり絵を書き加えたりしてオリジナルのうちわを作ってもらう趣向です。



今年もたくさんの子供達がうちわづくりを楽しんでいました。また、手作りの芳香剤も売れました。

ほたるでは、人気のハーバリウム（ガラス瓶やボールペンの本体に、ドライフラワーなどをオイルとともに封じ込めた、美しいインテリア雑貨です）に加えて、今年は初めてメダカも販売しました。このメダカは訪問介護事業所ライフサポートあさひさんから、育てるための水槽等一切合切を寄付して頂いたもの。餌やりなどのお世話が新たなほたるの仕事の一つになりそうです。利用者さんも販売に参加して、遅くまで頑張って下さいました。利用者さんの自主製品の売り上げはあおぞらつぐみの家は１０，０５０円、ほたるは９，４２４円となりました。売り上げはそれぞれの事業所で、給料として支給されます。

令和8年7月以降に更新を頂いた方のご芳名です。ありがとうございました。
※敬称略・順不同

目野　佐知子
西原　貴志子
新井　律子
堀木　文子
堀木　影子
島田　君子
平田早弥香
平田明日香
飯田　大介
佐野　房子
伊東　上総
高原　和子
格清　百喜子
菱田　真理
橋之爪　守
橋之爪　栄

河野　由美
大谷　悟朗
大谷　美智代
大谷　悠悟
西元　真希
中　由里子
土井　俊介
小島　修
三宅　ゆら
小川　祐香里
矢谷　多重子
岡崎　毅
河西　一歩
河西　信歩
成田　海翔
井上　尚也

松尾　里子
山田　和美
下山　やす代
矢追　恵
三木　昇
本田　由美
毛利　悠太
嵯峨根　啓幸
丘　優季花
藤井　美喜子
古川　桃香
津崎　健吾
古賀　睦
大田　由美子
西田　里麻
タカラ

物品販売のお知らせ

長く皆さんにご愛顧いただいていた「きょうされん　ユニオン物品販売」ですが、業者のご都合により販売は中止になりました。

はたらく仲間のうたカレンダーやスケジュール帳、きょうされんふきんなど一部、販売は継続されます。ご希望の方は、連絡いただければ対応いたします。

また、これに代わってサロンドロワイヤルのクリスマス用チョコレートの販売や好評のみかん販売なども取り組んでいきます。関心がおありの方は、注文カタログをお届けいたしますので、ご連絡よろしくお願いいたします。

やなせ たかし

正義のための戦いなんてどこにもないのだ。
正義はある日突然逆転する。
正義は信じがたい。

ぼくは、骨身に徹してこのことを知った。
これがぼくの戦後の思想の基本になる。
逆転しない正義とは、献身と愛だ。
それも決して大げさなことではなく、
目の前に餓死しそうな人がいるとすれば、
その人に一片のパンを与えること。

（出典：アンパンマンの遺書）

実に単純なことです。ひとはひとを
よろこばせることが一番うれしい

（出典：やなせたかしの生涯）



やなせたかし
（1919年2月16日～2013年10月13日）
漫画家、絵本作家、詩人　「アンパンマン」の作者

◎編集後記◎

久し振りに八尾アリオまで映画を観に行った。迫力のある映像と美しい音楽から編み出されるのは、いつまでも一緒にいたいという深い深い友情が生んだ憎しみの連鎖の物語。自分がこの登場キャラだったらどうしたか、何が出来たか。思い返しながら食べたラーメンは少し、しょっぱかった。

あ、この映画のタイトルは「ちいかわ　人魚の島のひみつ」です！

編集担当　菱田

支援スタッフ
（パート・アルバイト）
募集

生活支援員
短期入所・グループホーム
キーパー

お問い合わせはコチラ↓
ＴＥＬ：０７２－８７２－９２１１